

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	昭和土木株式会社	従業員数 (人)	86	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	藤城友紀	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	178,900	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(052) 831-5191	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	汚泥	がれき類	がれき類	木くず	混合廃棄物	
			As殻	Co殻		安定型品目	
前年度計画の実施状況 (27年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	43.50	4,185.39	954.34	80.68	125.70	
	b 有償物量 (t/年)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	43.50	4,185.39	954.34	80.68	125.70	
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.00	950.74	496.56	0.00	0.00	
		処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.00	950.74	496.56	0.00	0.00	
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.00	950.74	496.56	0.00	0.00	
		再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	43.50	3,234.65	457.78	80.68	125.70	
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	43.50	3,234.65	457.78	80.68	125.70	
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
f 委託中間処理量 (t/年)	43.50	3,234.65	457.78	80.68	125.70		
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	43.50	3,234.65	457.78	80.68	125.70		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	43.50	4,185.39	954.34	80.68	125.70		
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
 2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)
 3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破砕・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。
 5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	昭和土木株式会社	従業員数 (人)	86	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	藤城友紀	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	178,900	建設業の場合記入。愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(052) 831-5191	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	廃プラスチック	鋳さい				
		安定型品目					
前年度計画の実施状況 (27年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	12.55	0.62				
	b 有償物量 (t/年)	0.00	0.00				
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	12.55	0.62				
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
		⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.00	0.00			
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.00	0.00				
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
		⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.00	0.00			
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
		c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.00	0.00			
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	12.55	0.62				
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	12.55	0.62				
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
		f 委託中間処理量 (t/年)	12.55	0.00			
	f 委託中間処理量 (t/年)	処理方法	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
		g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.00	0.00			
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)		0.00	0.00				
i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	12.55	0.00				
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.00	0.00					
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.00	0.62					

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
 2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)
 3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破砕・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。
 5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。